

学校だより

令和3年3月17日

直方市立感田小学校

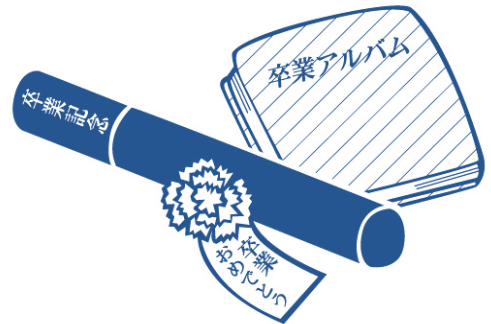
校長 右田 清二



昨日、第74回卒業式が行われ、102名の子どもたちが卒業いたしました。あいにくの雨となりましたが、子どもたちは、保護者の皆様と職員に見送られ、元気に巣立っていきました。

また、式の中での呼びかけや歌声からは、別れの寂しさと中学校への期待が伝わってきて、参加している者を感動させました。6年間で締めくくるにふさわしい立派な卒業証書授与式でした。

卒業式を迎えるにあたって、在校生とのお別れである「送る会」は、新型コロナウイルス感染防止対策のために、中止になりました。しかし、3月に入ってからの1週間は、「6年生へのメッセージ渡し」の場をつくりました。在校生の一人一人が、今までお世話になった6年生に対し、感謝の気持ちをメッセージカードにしたため送りました。それに対して6年生からは、メッセージビデオが送られ、最後の交流をしました。また、6年生からは、中校舎から北校舎への渡り廊下（体育館側）に卒業制作として、学校が明るく楽しい気持ちになるような壁画を残してくれました。ご来校の際は、是非ご覧ください。



この1年間を振り返りましょう！

いよいよ来週の修了式で、本年度も終わります。学校には、1年に何度かの節目があります。4月初めの始業式・入学式、7月の終業式。2学期の始業式・終業式。3学期の始業式・修了式・卒業式です。これらの節目では、学校のルールや目標に対して、努力や成果を確認します。そして、今後の生活にどのようなことに気を付けていけばよいのか、子どもたちに語りかけ、意欲を喚起するようにしています。また、この時期に、私たちは、子どもたちの姿や自分たち教師の役割や責任を振り返っています。



例えば、子どもたちの姿を通して

- 日常的に“あいさつ”ができ、相手を思いやる言葉づかいができてきているか。
- 高学年の子どもたちが、低学年の子どもたちの手本になっているか。
- 意欲的に学習に取り組んでいるか。
- ルールや約束事が守られているか。
- 友だちを大切にする態度や気持ちが育っているか。 等

私たち、教師の反省としては、

- 子どもが分かりやすいように、学習の準備や授業の工夫を行ったか。
- 子どもたちに、しっかりと“学力”をつけてきたか。
- 優しさや思いやりの心、人権感覚を育てるために、場に応じた支援をしてきたか。
- 子ども一人一人の思いや生活背景をつかむように努めてきたか。
- 約束・ルールや言葉づかいの大切さを、きちんと伝えてきたか。 等

できていること、不十分なところを整理して、来年度も引き続き頑張っていくことを確認しているところです。

※家庭でも、振り返っていただきたいこと

- 短時間でも家庭学習の習慣がついてきたか。
- 何か決めて、毎日家の仕事・手伝いをしているか。
- ものを大切に扱う心は育っているか。
- あいさつや言葉づかいなどしっかりとしているか。
- ゲームやスマホをする時間を決めてしているか。
- 自転車の2人乗りなど危険な遊びをしていないか。
- 家族や友だちに優しい言葉づかいができてきているか。
- 好き嫌いなどせずに食事をしっかりととっているか。
- 早寝、早起きはできているか。
- 家庭のルール、約束事は守れているか。 等

子どもの姿を振り返って、家庭での話題にしていただければ幸いです。

※ 1月の学校だよりの中で、緊急事態宣言下に入ったので、これまでの個々に授業を見に来られることについては、しばらくの間、ご遠慮願いたいとお知らせしていましたが、現在、緊急事態宣言が解かれ、市内の感染状況も落ち着いてきましたので、今年度も残り僅かになりましたが、ご希望がありましたら、担任までお知らせください。

